

花いっぱい

学校教育目標 《子どもたちに、夢・笑顔・やる気・元気を！》



修学旅行

5月18日(火)・19日(水)に、6年生が楽しみにしておりました修学旅行に、三重県内(熊野古道松本峠・鬼ヶ城・花の窟神社「熊野市」・熊野古道センター「尾鷲市」・志摩スペイン村「志摩市」・斎宮歴史博物館・いつきのみや歴史体験館「明和町」)に行ってきました。

当初、目的地を京都・奈良に予定していましたが、コロナウイルス感染防止等のために、行先を変えての修学旅行

となりました。本年度は、昨年度と同様に「社会科に関連した三重県中部、南部地域の歴史的文化遺産を自分の目で確かめ、歴史・文化・自然に対する認識を深める。」という、めあてを設定しました。

1日目に、世界遺産である熊野古道・花の窟神社を始めとした紀州地方から三重県を北に上がってくるルートとしました。心配していた天気も、最初の見学地熊野古道松本峠では、日が差すほど天気は良くなっていました。熊野古道の語り部さんについていただき、松本峠・鬼ヶ城について説明していただ



き有意義な時間を過ごしました。熊野古道センターでは、尾鷲ヒノキを使ってのバターナイフ作りか箸作りを経験しました。子どもたちが楽しみにしていた旅館での宿泊は、紀北町の「四季の活魚の宿 紀伊の松島」で、昨年度同様に高野尾小学校貸し切りでした。名前の通り、大人の食事としても十分な質・十分な量があった、とてもおいしい魚介料理をいただきました。

2日目、朝早くは雨が降っていなかったのですが、旅館近くの古里海岸へ散歩に出かけて、平らな石を見つけて水切りに興じ合う姿が見られました。7時ごろから雨が降り始め、志摩スペイン村は、あいにくのお天気でしたが、ほぼ高野尾小学校貸し切り状態で、5つに分かれたグループが合羽を着てもずぶぬれになるくらい自分たちの好きなアトラクションに乗り、楽しいひと時を過ごしました。バスでゆっくり休んだ後、斎宮歴史博物館・いつきのみや歴史体験館とも担当の方の話をしっかり聞いて、しおりにメモをしたり、双六を楽しんだりしていました。



この2日間で修学旅行の1つの目標である「1泊2日の団体生活の中で、互いに協力しあい、よりよ

い生活のあり方を考え、実行することができる」とともに、安全に気をつけて行動することができる」を十分守り、様々なことを満喫した修学旅行であったと思います。

そして、最後の「友情を深め、小学校生活の思い出を作ることができる」というめあてが守れたことは、ご家庭でお土産だけでなくたくさんの土産話の中で、感じていただいたことと思います。



最後に、例年のようにカメラマンとして帯同していただいた学校支援本部の大江さんには、卒業アルバム用を含む大量の写真を撮影していただいて、大変感謝しております。この「はないっばい」に掲載している写真につきましても、大江さんに撮影していただいたものを利用しています。

また、6年生につきましては、昨年度同様に歴史学習として10月に奈良へ行く予定をしております。



先日、PTA 役員会、代議員・協力員総会をもち、すでに配布しております年間計画に記載しました1学期のPTA行事につきまして、新型コロナウイルス感染防止等の観点から中止とさせていただきます。ご理解・ご協力いただければと思います。

【中止にする行事】

6月19日（土）PTA 親子健康教室

「授業参観・引き渡し訓練・支援本部廃品回収は実施します」

7月21日（水）26日（月）夏休み水泳教室

7月27日（火）PTA 親子クッキング教室